GE Global News

2014 年 6 月 23 日

*本報道資料はパリにて 6 月 19 日（木）に配信された内容を抄訳したものです。

GE、エネルギーと鉄道事業におけるアルストムとの新提携案を発表

2014 年 6 月 19 日 フランス・パリ

GE は本日、4 月 30 日に提出したアルストムの火力発電・再生可能エネルギー（「パワー」）および送配電（「グリッド」）事業の買収提案を更新したことを発表しました。これはアルストムの経営陣や仏政府と、雇用やフランスでの意思決定、原子力蒸気タービン技術へのアクセス、そしてアルストムの鉄道事業（アルストム・トランスポール）への支援などに関する協議を経て、決定したものです。GE のアルストムに関する企業価値に変更はありません。

GE の会長兼 CEO のジェフ・イメルトは、「過去 7 週間に亘って行われた仏政府との協議は実りあるものでした。その結果、私たちは、精神的にも、実務的にも、両社にとっての提携を実現させることで、アルストム経営陣との合意に達しました。本提携はエネルギー事業におけるフランスのプレゼンスを維持・強化するとともに、アルストムの輸送事業を強化します。さらに、雇用を創出し、フランスに複数の事業の本社を設置し、アルストムの名を存続させます。」と語りました。

さらに、「新たな提携案は、GE の投資家に対しても、本案件の価値を保つものです。本案件のシナジーは損なわれません。利益増を直ちにもたらし、GEの産業部門への事業ポートフォリオのシフトを促進させ、顧客へ提供する製品とサービスの幅を広げます。」と強調しました。

GE が本日仏政府に提示した新提携案の詳細は以下のとおりです。

1. エネルギー分野の変革に向けたアライアンス構築

GE とアルストムは両社が 50%ずつ保有する合弁会社を設立し、エネルギー事業におけるフランスとアルストムのプレゼンス強化とエネルギー分野の変革を支援します。GE とアルストムのブランドの下で、合弁会社は高度な技術やサービスを開発し、世界中の顧客にお届けします。

- グリッド事業：GE とアルストムはフランスを拠点に、双方が保有するグリッド関連の資産を合わせることでグローバルなグリッド事業を創り出し、新事業は両社が 50%ずつ保有する。

- 再生可能エネルギー：GE とアルストムはフランスを拠点に、アルストムの洋上風力事業と水力発電事業から成る再生可能エネルギーの合弁会社を設立し、両社が 50%ずつ保有する。

2. グローバル原子力事業・フランス蒸気事業におけるアライアンス構築

GE とアルストムはフランスの原子力蒸気技術の安全と成長を確保するために、グローバルの原子力事業と、フランスの蒸気事業におけるアライアンスを構築します。本提携は以下を含みます。

- 世界中のマーケットに向けた、アルストムの原子力発電所向け設備の製造及びサービス、また新しい原子力発電設備の開発と販売
- フランス国内に向けた、アルストムの蒸気タービン設備及びサービス

本アライアンスは GE とアルストムによる折半出資ですが、フランス政府が優先株を保有し、また原子力発電所の安全と技術に関わる問題に対して拒否権及びその他議決権を行使できます。

その他、アルストムのアラベル原子力発電蒸気タービン技術関連の知的財産権は、フランス政府が単独所有する特別目的事業体（SPV）に移管し、GE がアラベル技術をフランス電力公社（EDF）とアレバ社による原子力プロジェ

クトに提供する場合を除き、フランス政府による第三者へのライセンス供与が認められることとなります。また、GE は進行中のアラベル技術の開発と、フランス電力公社の既存原子力発電所へのサービス提供に長期的にコミットしています。

3. アルストムの鉄道事業の強化

アルストムの鉄道事業のさらなる強化のため、GE とアルストムは鉄道事業におけるグローバルなアライアンスを構築する覚書を交わしました。覚書には以下の内容が含まれます。

・GE の鉄道信号事業のアルストムへの売却。GE の信号事業は車内信号・地上信号機システム及びコミュニケーション・ソリューションの供給に関する世界的なリーディング・プロバイダーです。

・米国内のサービス、技術、サプライチェーン、製造、そして商業的サポートに関する複数の提携契約

このアライアンスによって、アルストムは、GE の鉄道貨物事業と北米事業における幅広さを活用し、特に旅客鉄道においてアルストムの世界的地位を強化することが可能となります。

4. フランス国内に高付加価値の雇用を創出

GE は向こう 3 年間で、製造業やエンジニアリングなど高付加価値分野において 1,000 人以上の新規雇用をフランスで創出することをコミットしています。これは独立監査人によって強化され、目標を達成できなかった場合は違約金を支払います。アルストムのエネルギー事業に属する既存の社員、及びアルストムによるフランスの洋上風力事業での既存のコミットメントとは別枠で、新たな雇用創出となるものです。

5. フランスはエネルギーと輸送事業において世界的なチャンピオンを保有

GE とアルストムによるエネルギー事業は、4 つのグローバル事業の本社及びリーダーシップチームをフランスに置くこととなります。当該 4 事業は、グリッド（GE の既存のグリッド事業を含めます）、洋上風力、水力発電、そして蒸気タービン事業です。これらは 1999 年より仏ベルフォートに設置されている GE のヨーロッパの電力事業の本社とは別に、新たに設置されます。また、GE の信号事業が加わることで、アルストムの鉄道事業は強化されます。アルストムのブランドは、鉄道事業とエネルギー業界において存続します。

GE の提案はアルストムの取締役会によって検討されています。本提案は 6 月 23 日に失効します。

GE について

GE は、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本において GE は、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エジソンを創始者とする GE は、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それが GE です。日本における GE の活動については、http://www.ge.com/jp/ をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」、「予想する」、「つもりである」、「計画する」、「信じる」、「探し求める」、「見込む」、「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、 金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む現在の経済・金融状況、欧米における欧州公的債務問題およびそれに係る将来的な市場混乱、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション（GECC）の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行（デフォルト）になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得る WMC のモーゲージローン証券化に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や

競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する、もしくは自社株買いを計画どおりに実行する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフロー や利益など財務状況の適切性、GECC が計画通りに GE へ配当を支払う能力、内定受注（コミットメント）/落札の成約率、定価での内定受注/落札後の実際の受注価格、当社の客先である主要産業（航空会社、鉄道、エネルギー生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業）からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響（金融関連法令の影響を含む）、自社株買いや買収・合弁事業・売却などの戦略的行為の時期や規模などに変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある、当社の資本配分計画、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、北米でのリテール・ファイナンス事業からの計画的で段階的な撤退能力や計画しているアルストムの火力・再生可能エネルギー・送配電事業の買収、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

GE の投資家向けウェブサイト www.ge.com/investor 、コーポレート・ブログ www.gereports.com 、当社の Facebook ページおよび Twitter アカウント（@GE_Reports を含む）には GE に関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧いただくことを推奨いたします。

<本件に関するメディアの方からのお問合せ先>
日本 GE コーポレートコミュニケーション本部 小池
Tel 03-5544-3847 / Sumito.koike@ge.com